

保健医療計画 進捗状況評価(5疾病6事業在宅)

【 救急医療 】

総合評価
A

総合評価に対するご意見

各指標の評価に事業実績の進捗を加味して、疾病事業ごとに総合評価

<評価目安>  
 指標の評価について、  
 ① A=4点、B=3点、C=2点、D=1点とし、平均値を算出  
 ② A:3.5点以上、B:2.5点以上3.5点未満、  
 C:1.5点以上2.5点未満、D:1点以上1.5点未満で評価  
 ③ ②に事業実績の進捗を加味して総合評価を実施

○ 課題と取組

課題		取組	
課題1	救急医療機関における患者の円滑な受入れ	取組1	救急受入体制の強化
課題2	高齢者等の生活や症状に応じた救急医療体制の整備	取組2	地域包括ケアシステムにおける迅速・適切な救急医療の確保
課題3	救急車の適時・適切な利用	取組3	救急車の適時・適切な利用の推進

<評価に当たっての目安>  
 A:達成している  
 →策定時と比較して5%以上を目安に良い方に進んでいる。  
  
 B:概ね達成している  
 →策定時と比較して5%未満を目安として良い方に進んでいる。  
  
 C:やや達成が遅れている  
 →策定時と比較して変化なし

○ 各指標の達成状況

取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成状況	出典	各指標の達成状況に対するご意見
				1年目	2年目	3年目			
取組1	心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)の1か月後生存率	9.4% (令和3年)	上げる	9.8% (令和5年)			B	救急救助の現況 (総務省消防庁)	
	三次救急医療機関の収容可能回答率	36.4% (令和4年)	上げる	59.6% (令和6年)			A	東京消防庁集計	
	救命救急センターの充実段階評価「S」の割合	57.7% (令和4年)	上げる	67.9% (令和6年)			A	充実段階評価 (厚生労働省)	
取組1 取組2	二次救急医療機関の応需率	43.1% (令和4年)	上げる	57.3% (令和6年)			A	東京消防庁集計	
取組1 取組2	東京ルール事案に該当する救急搬送患者の割合	7.29% (令和4年)	下げる	4.08% (令和6年)			A	救急災害医療課実績集計	
取組1 取組2	救急活動時間(出場～医師引継)	62分28秒 (令和4年)	短縮	56分21秒 (令和6年)			A	東京消防庁集計	
取組3	救急相談センター(#7119)の認知率	56.8% (令和4年) ※	上げる	73.9% (令和6年)			A	消防に関する世論調査 (東京消防庁)	
	救急搬送患者の軽症割合	53.4% (令和4年)	下げる	52.8% (令和6年)			B	東京消防庁集計	

※令和4年までの調査では「知っている」「知らない」の選択肢だけであったが、令和5年調査からは「利用したことがある」「利用しようとしたが、電話が繋がらなかった」「どのような時に利用するのかわからない」「利用したことはない」「名称程度は知っているが、どのような時に利用するかまでは分からない」「知らない」の選択肢となったため、「知らない」と「未回答」以外の数値を集計した数値を掲載

その他ご自由にご意見をお聞かせください。